

議事 1 第2回検討委員会における意見

No.	意見、市の回答
1	宿泊事業者の方々が徴収する矢面に立つ側である反面、一番分かりやすくメリットを享受する側でもあることを丁寧に説明していく必要があると思う。
2	周辺市町村の動向は把握しているか。周辺市町村とも足並みが揃うと良いと思う。 (市の回答) → ・北見市、釧路市、帯広市、旭川市～税率は200円の一律となっている。 ・札幌市、函館市～北海道と同様に段階的定額制ということで議論が進んでいる。 ・斜里町～当初斜里町は宿泊税の導入に向けた協議を進めるとされていたが、その後違った形で課税も含め検討していると聞いている。 ・大空町、小清水町、清里町～特段動きはないと聞いている。
3	宿泊事業者との意見交換会について、どのくらいの数の事業者に案内をしたのかを知りたい。欠席者の中にも色々意見を持っている方もいると思うため、欠席者にも意見を徴収するような機会を設けることはできるのか。 (市の回答) → 33事業者に案内して6事業者の参加となった。市としても、参加はあまり多くなかったと感じているため、アンケート調査を実施し、事業の概要を示した中で意見を募りたいと考えている。 (委員長) → 意見聴取というよりは、まずは理解を深めてもらい、一緒にやっていく中で必要な対応をしてもらうという進め方が合理的だと思う。 北海道では全部意見を聞いて收拾がつかなくなったということが現実にあったため、そういったやり方は望ましくないと思う。
4	資金使途を明確にする必要がある。 インフラ整備というよりも、受け入れ環境整備の充実という説明があったが、こういうことを進めたいから協力してほしいと具体化するべき。
5	受け入れ側の視点と来訪者側の視点というところで、外から見た網走市と、網走市民から見る網走市という目線で観光地として外部の方がどういったところを整備してほしいかを聴取する上で、宿泊事業者の協力も必要になるが、簡易的なアンケートも取り入れて資金使途の整理をかけることも必要。 (委員長) → タイミング等を考えればやれると思うが、関係事業者がそういった意見を持っていることを前提に、今まで整理をしてきたと思う。 事業者サイドでできるだけそういった声を取り込んでもらうというのが一つのやり方だと思う。 何らかの形で宿泊者の声を取り込むということは必要であるため、事務局でも検討してもらえればと思う。
6	観光マーケティングにも多額の費用がかかる上、施策の質を向上させるための財源確保も必要というのが現状の課題。 (委員長) → マーケティング的なプロモーションにおいて、何が求められるかということは当然聞いていくと思う。宿泊者の実感を聞くことは場合によっては必要になるかもしれない。
7	我々の施設利用者は、観光客かビジネス客で、長期連泊型などもある。1月2月になるとインバウンドの昼食が非常に多くなる。バスが1日10台ほど来て、昼食をとり、おーろらに乗るというパターンが多い。お客さんやツアーコンダクターに、この後どこへ行くのかを聞くと、層雲峡か阿寒といった所が非常に多い。我々の施設は昼食を食べる通過点と思っていたこともあった。
8	今はネットの時代であり、ホテルを予約した後に、楽天やじゃらんでもっと安いプランがあったためキャンセルするなど、金額について敏感な方は敏感。 網走に来てもらうことが目的であるはずなのに、網走だけ違うという理由で、来てもらえなくなるかもしれないといった懸念もある。 宿泊税の使途を明確化して財源を確保するということは反対ではないが、北海道内、近隣市町村の動向を踏まえ、たとえば進めていかなければならないと感じている。 (委員長) → 基本的には当初からそういった視点は持っている。 市町村ではシンプルな段階制が主流になっているという前提で、税額も200円というところが一番多い。 網走市が突出して進むというよりも北海道や近隣市町村の動向を踏まえ、調和的な制度として作りたい。

議事 1 第2回検討委員会における意見

No.	意見、市の回答
9	全3回の検討委員会の中で、方向性を定める入口まではいけると思うが、テーマによってはどの程度までいけるのかと思っている。 色々な所でやるのが流行りとなっている流れに流されてしまうと、足元をすくわれるといった懸念もある。 テーマ性が何本もあるため、それをどこまであげていけるのかが不安ではある。 導入することにあたっては、批判的な意見もなく共通の認識を持っていると思うが、導入ありきで進んでしまうことによる不安もある。 (委員長) → 次回の委員会で、それぞれの立場で使途について意見を出してもらう必要がある。 使途を決定するまでのプロセスは明確にした方が良いと思うが、使途自体については、アウトラインとしてのゾーン以上は言わない方が良いかと思う。 税の骨組みについては、検討委員会として出さなければならないと思う。具体的に書けるところは書いておいた方が良いと思うため、検討委員会でできるだけ整理ができればと思う。
10	他地域を見ていると、宿泊税の使途についての明確な表記があったり、既に実施されているところでは、毎年使い道が示されている。入湯税の使い道も今回の資料の中で初めて見た。 (委員長) → 入湯税は一般財源であるため、明確に使途を限定しておらず、大体関連する費目をあげて対応するところのようになるというのが市側の説明の趣旨である。 北海道でも今回導入する宿泊税については、明確に目的に沿って使うという体制をとる必要があるという議論はしている。 一般会計の歳入であるが、明確に毎年の資料を合わせて経理は別にした上で、数字はきちんと説明して議会等のチェックを受けるといった、最低限やらなければいけないことが資料に記載されている。
11	特別会計を作るといった話までは出ていないか。 (市の回答) → そこまでの話はしていない。入湯税に関しては一般財源ではあるが、目的税となっているため、何に使っても良いというわけではない。 今回の宿泊税は目的をさらに限定して使っていくということになる。
12	ニセコなどの地域は海外利用者も多く、内容を理解してもらうために、多言語版の説明用リーフレットがある。
13	コロナ禍にHOKKAIDO LOVE! 割などの支援があったが、受け入れ側も混乱して、説明をするのに宿泊客を20～30分も待たせてしまったりと大変だった。宿泊税導入により、また同じような混乱状態に陥ってしまうと困る。 (委員長) → 導入時の混乱をどう避けるかというのは非常に大事な論点。 事務局の説明の中にも、マニュアル化という話があったが、あまり難しいものではなく、できるだけコンパクトに、インバウンド対策の多言語化ということだけ工夫して簡易なものを作成して、宿泊客に説明できる体制を整えることが大事。
14	宿泊客の直接的な対応は、宿泊事業者がやらなければならない。地域によって税額が異なることになるが、一律でやってもらえるとありがたい。宿泊税の使い方によって客が増えるということには賛成であるため、しっかり検討していかなければならないと思っている。
15	(委員長) → 使途の中に交通整備などが入ると、観光には限らない整理が必要になってくる。 宿泊税導入により、従来の観光予算からは幅が広がるが、広げすぎると何に使ったか分からなくなるため、歯止めも必要という両面がある。軸の整理も含めて考えなければならない。そこは次回の委員会で整理していく必要がある。
16	(委員長) → 学校行事として修学旅行は非課税で合宿は課税というのが市の考え方だが、私も基本的には非課税対応は限定的にやるべきだと思う。合宿については、政策的な観点から支援について検討するとの話もあったため、その辺りの度合いがどのくらい必要かということも論点になる。 第3回検討委員会に向けて議論を整理する必要があると考える。

議事 1 第 2 回検討委員会における意見

No.	意見、市の回答
17	(委員長) → 観光客がどう増えるかということに関して言うと、網走だけで解決するというのは限りがあるが、交通の問題は特に大きい。市内だけでも、どこバス事業の拡充というのは市長も話していたが、観光客の上手な活用ができるかといったことを念頭に、使途を考えていくというのはあると思う。
18	(委員長) → 食が美味しい時期である11月12月に観光客が少ないという現状があるため、イベントなどによる短期的な目線を入れても良いのかもしれない。
19	網走は冬における宿泊の人数が少なく、網走で昼食だけ食べて、層雲峡などの違う所に行くというのは、網走にイベントがないことが原因だと思っている。過去には網走でも夜のイベントがあった。インバウンドからも何かイベントがあるか聞かれるが、夜のイベントはない。アジア圏の人たちは、夜のイベントが好きであるため、ちょっとしたイベントも考えなければならぬと思っている。 (委員長) → 全額公費という話にもならないかもしれないが、種金があればやりようがあるため、短期的にでも宿泊者数などを変えられるような施策も盛り込んでいくことも大事な考え。 効果的に宿泊税を使うことで、少しずつの観光客増加につながり得る。 そのあたりも検討委員会としての意見で言えればと思う。 (意見) → 民間で開催するイベントは大体流氷時期。網走市として本当にやらなければいけないのは閑散期のイベントで、地元の事業者一体で真剣に考えないといけない。そこに財源を充てられるとなるとアイデアも出やすいと思う。 名物となるようなイベントを作るなど色々な使途はあると思う。 (意見) → 網走は紅葉を見られるところが少ないと感じるが、天都山からの風景は素晴らしいと思う。知床連山が見られるような広い所で、目玉になるようなことができれば観光客も増えると思う。 流氷だけでなく、何かがあれば人は来ると思う。財源があればみんなで考えて、そういった案を出して網走市の一つの目玉のようなものができれば良いと思う。 (委員長) → その辺りをどう描くかによって、市民の受け止め方も変わると思う。 前向きな流れを作るという意味表示を検討委員会として出して、発信する。 当初から3回の検討委員会で議論を整理することになっている。 委員それぞれの立場で考えてもらい、次回事務局案も出てくると思うが、我々らしいニュアンスも盛り込んで会議としての交通整理ができればと思う。
20	近年 9 月 1 0 月は鮭釣りをしに来る人が増えたことから観光客も増えた。釣り新聞というものにホテルの広告を出したところ、今まで北見を宿泊先としていた人も、広告を見て網走に泊まるようになった。